



マイル: 歌劇《ケ・オリジナーリ!》全曲, ドニゼッティ: 歌劇《ピグマリオーネ》全曲

ブルーノ・デ・シモーネ, ピエトロ・ディ・ビアンコ (Bs) キアラー・アマル, 協園彩 (Ms) レオナルド・コルテラッツィ, アントニーノ・シラグーザ (T) アンジェラ・ニージ, ジョイア・クレパルディ (S) オマール・モンタナーリ (Br) ロベルト・カタラーノ (演出) ジャ

ンルーカ・カプアーノ 指揮 スカラ座 アッカデーミア

〈収録: 2017年11-12月(L)〉

[Dynamic©DYNBRD37811 (2枚組)] **DVD-V**

[Dynamic©DYNBRD57811] **BD**

昨年11〜12月ドニゼッティ音楽祭

の二本立て公演をライブ収録。イタリアでマイルの名で活動したドイツ人マイヤー作曲《ケ・オリジナーリ!》は1798年ヴェネツィア初演のファルサ。主人公フェーオ男爵は自分を優れた作曲家と信じ、娘アリステアとロジーナに音楽やピアノの勉強をさせ、音楽と音楽家以外の価値を一切認めない。アリステアと恋仲のカロリーノ伯爵が結婚の許しを得に現れても、音楽家でないとの理由で相手にしない。やがて伯爵はセミミミマ (四分音符) という名の大作曲家に変装して現れ、歌の上手な音楽家の娘を自分の花嫁に探していると言う。大喜びした男爵は高額の持参金を付けてアステリアを与え、ハッピーエンドとなる。

過去の大作曲家、メタスタジオとその作品、楽器や音楽の用語を台詞に散りばめたマニアックな作品で、

使用人に雇われたいカルルツチヨがモーツァルトのフィガロのパロディを歌って気に入られる。歌手はフェーオ役ブルーノ・デ・シモーネとアリステア役キアラー・アマルが演技と歌唱に優れ、楽しませる。

併演《ピグマリオーネ》は18歳のドニゼッティがソグラフィー台本を再使用した約35分の作品。世界初演は1960年ベルガモでなされた。登場人物は2人。かつてない情熱で女性の彫像を製作するピグマリオーネが美を高めるべく衣装を削り取ろうとすると、像の手足が動いて驚愕する。そして彫像に自分の命を捧げると天に誓い、「ガラテアはどこにいる?」と問うと、稲妻に打たれた像に命が吹き込まれ2人は結ばれる、という内容。シエーナとアリアの連続、最後の二重唱からなる通作的構成ゆえ、ピグマリオーネ役アントニーノ・シラグーザの一人芝居に等しい。ガラテア役の協園彩は途中で姿を現してマイムを演じ、歌うのは最後の5分間とあって案外難しい。

ロベルト・カタラーノ演出の舞台は、白を基調としたモダンな室内。背後の壁に透視スクリーンを設置し、《ピグマリオーネ》はベッドのある裏側の部屋をメインに用いる。両作品とも世界初の映像収録。日本語字幕もあるのでお薦めだ。